

令和7年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立都南小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

令和6年度の体力・運動能力調査の意識調査集計結果から体育の授業への楽しさを感じている児童は非常に多いことが分かった。体力や技能の向上を児童自身が感じられるようになり、教師や友達のアドバイスによりできるようになったことがあると回答した児童も多くいた。

また令和6年度体力・運動能力調査の新体力テストの結果からは全学年、全種目ともに全国平均値と比較するとやや低い傾向にあることが分かった。しかし上体起こしの結果はやや高い傾向にあり、屋内や少人数でもできる活動を取り入れたり、日常的に体力を向上させようとする習慣がついたりしてきたことが理由として考えられる。

(2) 課題

気温の上昇や運動機会、場の減少等、様々な要因により、運動そのものや屋外での活動場数が減少しており、全体的な体力低下は課題である。安全面を考慮しつつ、活動時間を確保する方策を考えていく。また運動のポイントは分かっているにもかかわらず実際に体を動かすことが難しい児童も一定数おり、知識と技能の両方を向上させることにも課題が見られる。

令和6年度体力・運動能力調査ではどの種目も全国平均、東京都平均より低いかほぼ等しいという結果であった。特に長座体前屈、反復横とび、20mシャトルランの結果が低い傾向にあることから、柔軟性、俊敏性、持久力に課題があることが分かった。

2 令和6年度体力・運動能力調査結果における分析～学年別の傾向と改善策について～

学年	◆特に低い傾向の測定種目	□改善策
1年生	◆20mシャトルラン □持久走や短縄跳びの前跳び等、体力を高める運動を取り入れる。日常的に走ったり、体を動かしたりする運動や遊びの機会が必要である。	
2年生	◆長座体前屈 □ストレッチや体ほぐしの運動等、柔軟性を高める運動を取り入れる。運動の前後にストレッチを行い、けがを予防するという意識も高めていく。	
3年生	◆反復横とび □鬼ごっこやタグラグビーなど素早く走り抜けたり、左右に動いたりするような俊敏性を高める運動や遊びを取り入れる。	
4年生	◆50m走 □鬼ごっこやタグラグビーなど素早く走り抜けたり、左右に動いたりするような俊敏性を高める。またジャンプやダッシュ等の瞬発力を高める運動や遊びを取り入れる。	
5年生	◆長座体前屈 □ストレッチや体ほぐしの運動等、柔軟性を高める運動を取り入れる。運動の前後にストレッチを行い、けがを予防するという意識も高めていく。	
6年生	◆長座体前屈 □ストレッチや体ほぐしの運動等、柔軟性を高める運動を取り入れる。運動の前後にストレッチを行い、けがを予防するという意識も高めていく。	

3 授業改善のポイント（観点別）

低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知る。また基本的な動きを身に付けることができるようにする。	運動遊びの行い方を知り、教師の問いかけをもとに方法を工夫する。気付いたことを他者に伝えることができるようにする。	運動遊びを楽しみ、進んで取り組めるようにする。またきまりを守り、誰とでも仲良く運動をしたり、意欲的かつ安全に運動をしたりする態度を養う。

中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方について理解する。また基本的な動きや技能を身に付けることができるようにする。	教師の問いかけをもとに、自己の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫する。また考えたことを他者に伝える力を養うことができるようにする。	運動に進んで取り組み、きまりを守ること、誰とでも仲良く運動すること、場や用具の安全に留意することを通して、粘り強く運動しようとする態度を養う。

高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方について理解する。また運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けつつ、さらに技能を高めることができるようにする。	自己の運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫する。また、考えたことやアドバイスを他者に伝える力を養う。	運動に積極的に取り組み、約束を守る、助け合って運動する、仲間の考えや取り組みを認める、場や用具の安全に留意する態度を養う。また自己の心技体の向上のため、最善を尽くして運動をする態度を養う。